

刈谷市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部 市に2回目の提言書を提出

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言書 (2回目) (市長宛て)

1 国の緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルスとの長期戦が避けられない状況の中、一日でも早く、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻すため、市民生活や事業者の実態把握に努め、不急事業の見直し等により捻出した財源を基に、地域の実情に応じた効果的な支援策の実施・拡充を図ること。

2 有効な治療法やワクチンの開発がいまだ実現していない中、感染拡大の第2波、第3波の可能性に備え、公共サービスに支障が生じないよう対策を早急に講ずるとともに、「新しい生活様式」の確立に向けた取組を進めること。併せて、医療・介護・障害者施設等の環境整備に対する支援の充実に努めること。

※提言により実現した支援策は7ページを御覧ください。



稲垣市長に提言書を手渡す山崎対策支援本部長と加藤対策支援副本部長

6月定例会における新型コロナウイルス感染症への主な対策

- 傍聴者の間隔を空ける
- 議員、理事者はマスクを着用
- 換気を小まめに実施
- 一般質問の人数を少なくして対応
- 密接を避けるため、議場に入る議員の数を減らし、別室で本会議の様子が見られるようモニター視聴を実施



※別室2か所でモニターにて視聴しました

※質問者登壇前

刈谷市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部

4月10日に愛知県知事から、緊急事態宣言が発出されたことに鑑み、刈谷市議会災害対応マニュアル(平成29年6月策定)に基づき、4月14日午前9時をもって刈谷市議会としての対策支援本部を設置しました。

◎活動内容
・市対策本部との連携・情報共有
・市対策本部への要望・提言

◎目的
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市との情報共有を主体とする協力・連携体制を整えます。

◎構成員
本部長…議長
副本部長…副議長
本部役員…会派代表者
本部員…その他の議員

◎第4回役員会議(6月26日)
第3回の会議で取りまとめ提出した提言書について、市対策本部長である市長から対策支援本部長である議長宛てに回答があったため、議長から各役員へ報告がありました。また、今後における市への提言等の在り方について協議をしました。

※第3回までの役員会議の内容については、市議会ホームページまたは6月15日発行の市議会だよりを御覧ください。

編集後記 かけはし

◆今年に入り新型コロナウイルスの感染拡大とその対応で市民の皆さんも健康と命を守ること、商売の事業継続など本当に苦労をされていると思います。そのような状況の中、令和2年7月豪雨が発生しました。被災された方々に、深くお見舞い申し上げます。

◆市議会でも対策支援本部を立ち上げ、皆さんからの声を基に市の対策への追加要望などを出してまいりました。そのあらまは「議会だより新型コロナウイルス感染症対策特別号」で御紹介いたしました。

また、本紙の表紙写真で紹介されている「KARIYA eats」と同様、市役所でも売上げが減少している飲食店を少しでも支えようと、市職員向けに弁当のデリバリーが行われて

います。市議会議員も本会議や委員会の際に注文しており、普段、店舗まで足を運ばないと味わうことができない専門店の味を楽しむとともに、少しでも地元飲食店の売上げに貢献したいと思っています。

◆まだまだ新型コロナウイルスの終息の見通しはつきませんが、引き続き市民の暮らしを第一にした施策ができるよう市議会議員一同奮闘いたします。

◆現メンバーで市議会だよりの作成をするようになって1年が経ち、今号が最後となりました。毎回、かんかんががくがくの議論をし、作成してきましたが、至らないところもあったと思いますが、1年間お読みいただきありがとうございました。

次回以降の市議会だよりもより一層市民目線で頑張りますので、ぜひ楽しみにしてください。

(議会広報委員会)

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いなどを出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。

